

令和4年度 信学会若槻保育園 「自己評価」

1. 園の保育目標

*元気にあそぼう、おいしく食べよう *しらべてみよう、やってみよう *みんなだいすき、ありがとう

2. 本年度の力を入れている活動

*散歩などの園外活動

*絵本の読み聞かせ

*異年齢活動

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

| 項目 | 自己評価内容 | 評価 |
|--------------|--|----|
| 教育課程・指導 | ・園は目指している園目標、その達成のために力を入れている活動を周知している。 | A |
| | ・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。 | B |
| 保健管理 | ・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。 | A |
| 安全管理 | ・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。 | A |
| 組織運営 | ・園長は園目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。 | A |
| | ・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。 | A |
| 研修（資質向上への取組） | ・法人実施の研修会や外部の研修への参加と、園内研修会の実施をしている。 | A |
| | ・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。 | B |
| 教育目標・園評価 | ・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。 | A |
| | ・保護者アンケートなどの実施により意見要望の把握に努めている。 | A |
| | ・本年度の目標達成のための力を入れている活動への取り組みをしている。 | A |
| 情報提供 | ・園解放等を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。 | A |
| | ・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。 | A |
| 保護者・地域住民との連携 | ・保護者会等を通し連携して園運営を行っている。 | B |
| 子育て支援・預かり保育 | ・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。 | B |
| | ・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。 | A |
| 教育整備環境 | ・子どもの成長に則した保育環境になるよう工夫を重ねている。 | B |

4. 保護者(保護者アンケート)からの評価

- ・家庭ではなかなかできないイベントや季節の行事を体験できる。。
- ・散歩等にたくさん連れていってもらえて嬉しい。
- ・異年齢の交流が多く、アットホームな雰囲気が良い。
- ・担任だけでなく、園全体で見てもらえていると感じる。
- ・駐車場が狭くて危険なので、ミラーを閉じる、寄せて停めるなどを徹底して欲しい。
- ・日常の様子のわかる写真の配信がもう少し増えると嬉しい。
- ・保育中の安全確認や誤飲、睡眠中の確認など安全管理を今後も徹底して行って欲しい。
- ・今後も子ども主体の保育に力を入れて行って欲しい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・散歩や異年齢の交流などの園で力を入れている活動に対し、良さを感じてくださっている方が多かった。引き続き力を入れるとともに、取り組みを家庭に伝える努力も続けていきたい。
- ・駐車場を増やすことは現状では難しいので、利用方法の確認を引き続き呼びかけ、みんなで気を付けて使用していけるよう働きかける。
- ・園外活動に出た際はもちろん、午睡中の呼吸チェック、水遊びの際の確認など、安心安全を徹底できるように、職員で定期的に確認したい。また人権擁護のためのセルフチェックを活用しながら自分の保育を振り返る機会も大切にしていきたい。
- ・子ども主体の保育について園内研修等でも学び合いながら取り組んでいるが、保育環境の工夫等で不十分と考える職員もいたので、今後も研修し合いながら深めていく。